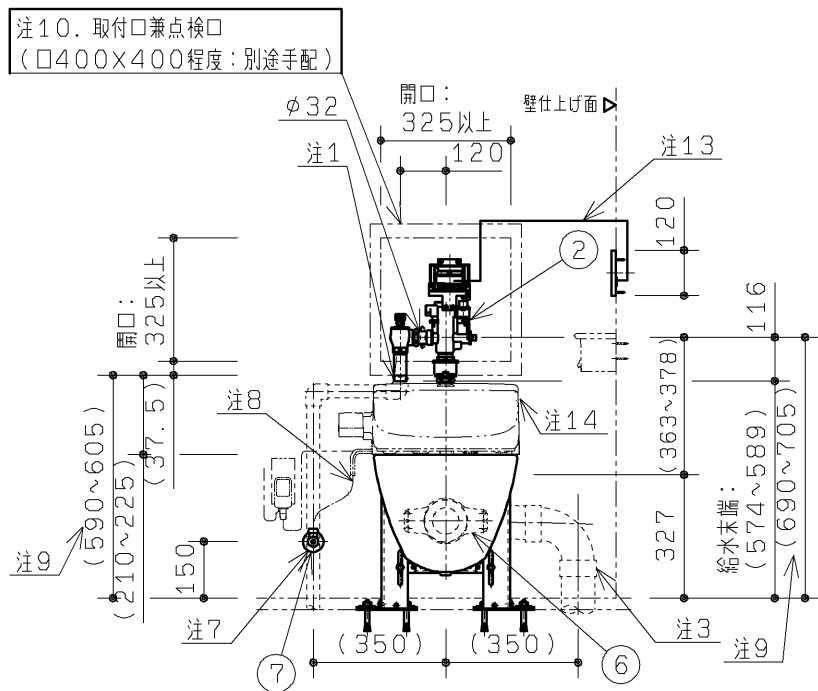
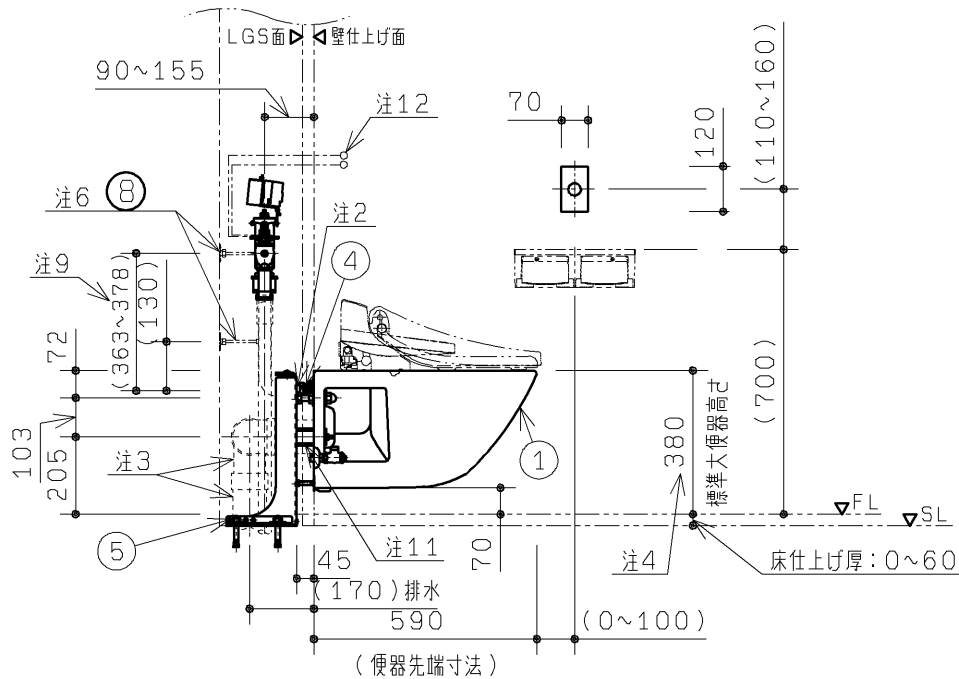
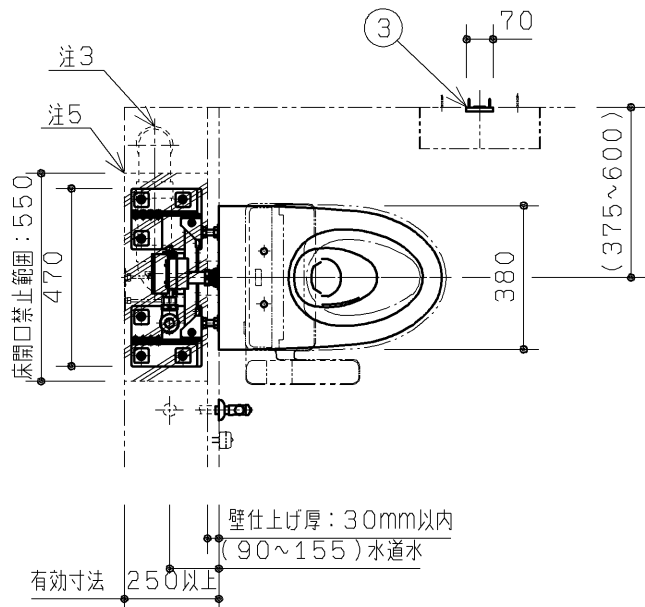


20・紙巻器、背もたれなし

※詳細につきましては、取扱説明書を参照してください。

床コンクリート仕様	圧縮強度 20.6MPa以上、鉄筋のかぶり厚50mm以上 養生期間 28日以上（アンカー施工時） ベースプレートの周囲40mmの範囲は開口や欠損禁止
パイプスペースの奥行寸法	壁厚（30mm以内）を含め250mm以上
壁仕上り厚調整範囲	30mm以内（下地の耐水合板を含む）
床仕上り厚調整範囲	60mm以内（標準取付け高さの場合）、便器高さUP寸法+仕上り厚：60mm以内



品番	番号	品名	数
C473P	①	便器（エロンゲートノズナシトルネード式）	1
TEV16UR	②	自動フラッシュバルブ（水道水仕様）	1
TES46U#BES	③	センサースイッチ	1
TU82C32D	④	スパッド	1
UTR855Z	⑤	壁掛大便秘器取付スタンド	1
（品番※部：P）HP551VP	⑥	壁フランジ（VP75：パッキンタイプ）	1
（品番※部：U）HP551VU		壁フランジ（VU75：パッキンタイプ）	

—	—	便座	1
—	—	紙巻器	1
—	⑦	専用止水栓	1
—	⑧	パイプホルダー	2

設備工事

注1: ねじサイズ R1

注2: 洗浄管: $\phi 31.75$ (自動フラッシュバルブに含まれます)

注3: 排水は末端の呼び径75で準備ください。

注4: 便器取付高さは用途に応じて、370~440の範囲で設定が可能です。
(SL~FL=0の場合)

注5: 配管の立ち上げは、床開口禁止範囲(壁掛大便器取付スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲)を避けた位置から取り出してください。

注6: 自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。
(品番: T56PH1)

注7: 給水専用止水栓 ねじサイズ R1/2 (温水洗浄便座を使用する場合)

注8: フレキホース長さ 0.95m (温水洗浄便座を使用する場合)

注9: 自動フラッシュバルブ設置高さと検口取付高さは上記注4の範囲で連動して設定してください。

注: 本大便器は、フラッシュバルブ専用です。

注: 壁掛大便器取付スタンドは下地補強なしで
施工できる本大便器専用の取付スタンドです。
施工に当っては、UTR855系の製品図面と施工説明書を参照ください。

注: 排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。

注: 給水には、最低必要水压0.07MPa(流動時)
瞬間流量が102L/分以上得られるように配管設計してください。
(最高水压0.75MPa) ただし、自動フラッシュバルブ取付時には
瞬間流量が84L/分以上となります。

注: フラッシュバルブ用の給水管径は25A以上としてください。
温水洗浄便座用の給水管径は15A以上としてください。

注: 給水スパッド締付けの作業性向上が図れる専用工具も用意しております。
必要に応じて別途手配ください。(品番: UTR900S)

注: 便器裏開口形状についてはスタンド同梱の型紙を利用ください。

建
筑
工
事

注10:点検口(別途)は、施工時に給水スパッドの締付等の器具取付口を兼ねています。壁開口は左に示す寸法で必ず開けてください。

注11:排水フランジをタッピンねじで壁下地に固定する必要があるため、排水フランジ周りの下地は耐水合板(≧9mm以上)としてください。

電
氣
工
事

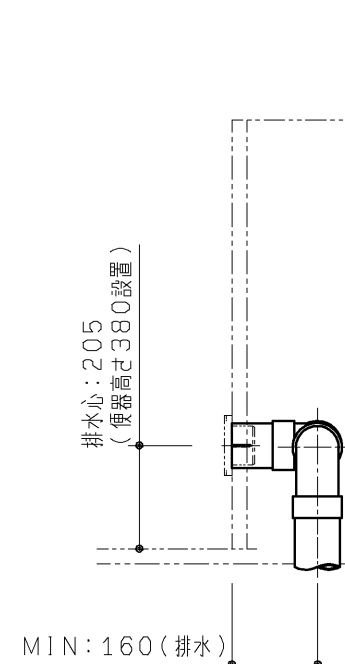
注12: 電源AC100V 50/60Hz VVF2X1.6mmを
製品端子台に接続のこと

注13: 信号線(6m, スイッチユニットに付属)埋め込み壁に
事前に電線管を通しておきます。

注14: 温水洗浄便座を使用する場合は温水洗浄便座に合わせた
電源工事が必要です。
※便座定格: 使用する便座を確認のうえ設定してください。

TOTO		第三角法	単位 mm	名称 腰掛式壁掛大便器セット (水道水仕様／単独排水／間仕切センサースイッチ)
製図 鈴木	検図 島坂 野口	日付 15. 09. 30	尺度 1 : 2 0	品番 UAXC1BP1BN UAXC1BU1BN
備考				図番

水道水仕様



注：給水には最低必要水压（流動時）0.07MPaを確保してください。（最高水压（静止時）0.75MPa）

注：壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを選ける位置に配管を立ち上げてください。

排水心：205
(便器高さ380設置)

型紙指示外形

器具心

120 120

$\phi 80 \pm 2$

$\phi 60 \pm 5$

19

122

103

$\phi 130 \pm 5$

$\phi 30 \pm 1$

壁仕上げ面

器具心

壁仕上げ面

ライニング
仕上げ面

壁掛大便器取付スタンド

スタンド高：405

床仕上げ面

器具取付ボルト
308

45

柱端：100

柱幅：340

235 235

スタンド幅：470

注5 床開口禁止範囲：550

(参考)スタンド外形図

TOTO

第三角法

名称	
----	--

壁掛6L大便器セット事前施工情報

鈴木
製衣

島野 図換

日付	
15. 09. 30	

	品番
--	----

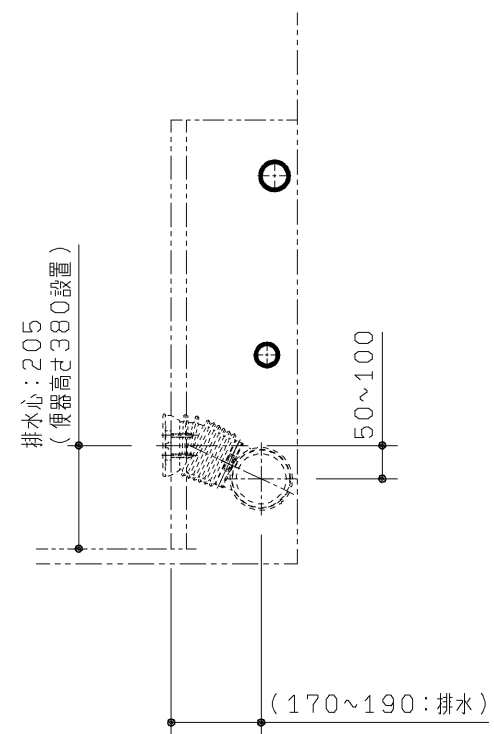
UAXC=24

備考
設備工事（単独配管）（1/3）

	○ 番
--	-----

UAXC=24

水道水仕様



注1：銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。

注2：洗浄管：φ31.75（自動フラッシュバルブに含まれます）

注3：フラッシュバルブ用の給水管径は25Aとしてください。

注4：排水は末端の呼び径100で準備ください。

注5：ライニング内から配管床抜く場合は床開口禁止範囲（スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）を避けた位置から取り出してください。

注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。
（品番：T56PH1）

注7：フラッシュバルブ同梱洗浄管の長さの範囲で接続可能範囲を示しています。

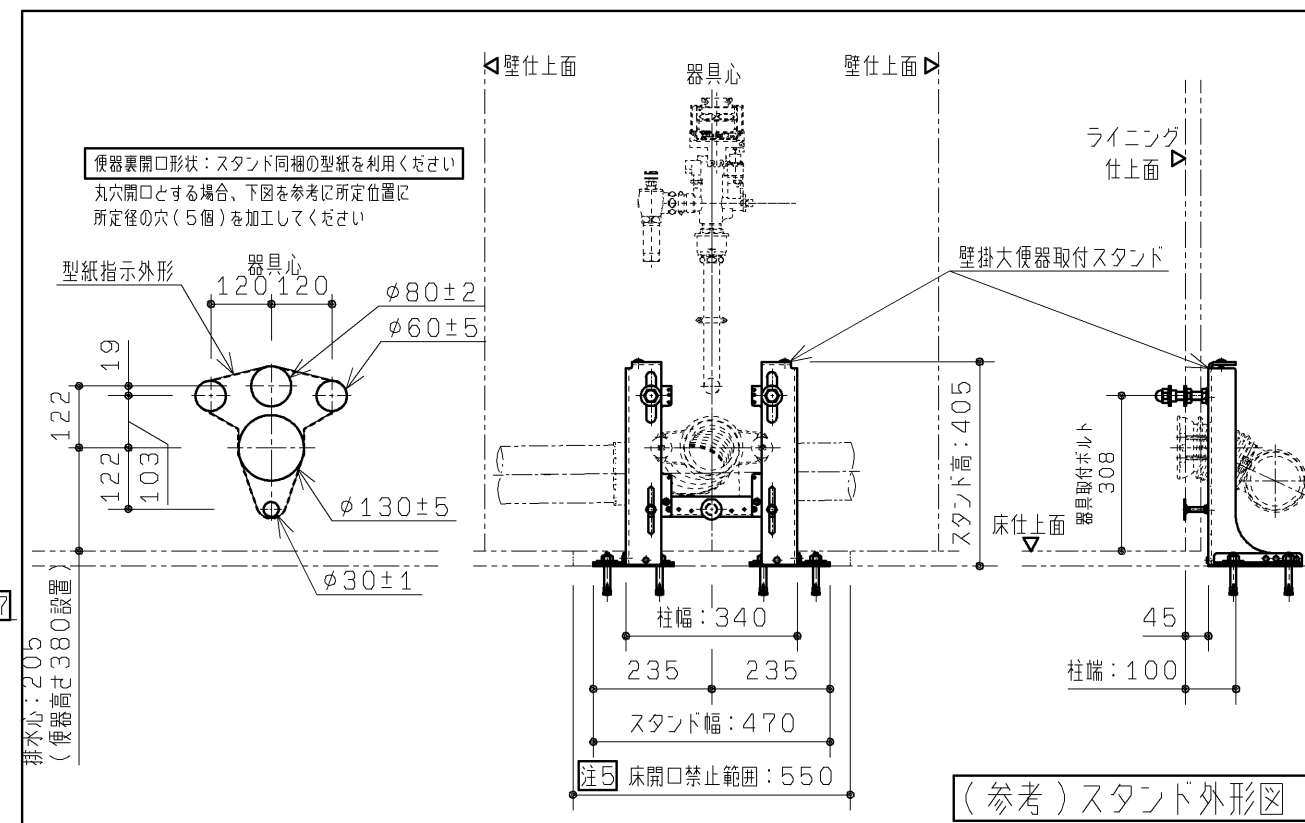
注8：通気管と汚水管の接続は水上側の器具間で接続してください。
詳細は（3/3）参考図面を参照してください。

注9：給水管呼び径は連数に応じて都度設計してください。1連横引きの場合は、呼び径は25A以上としてください。

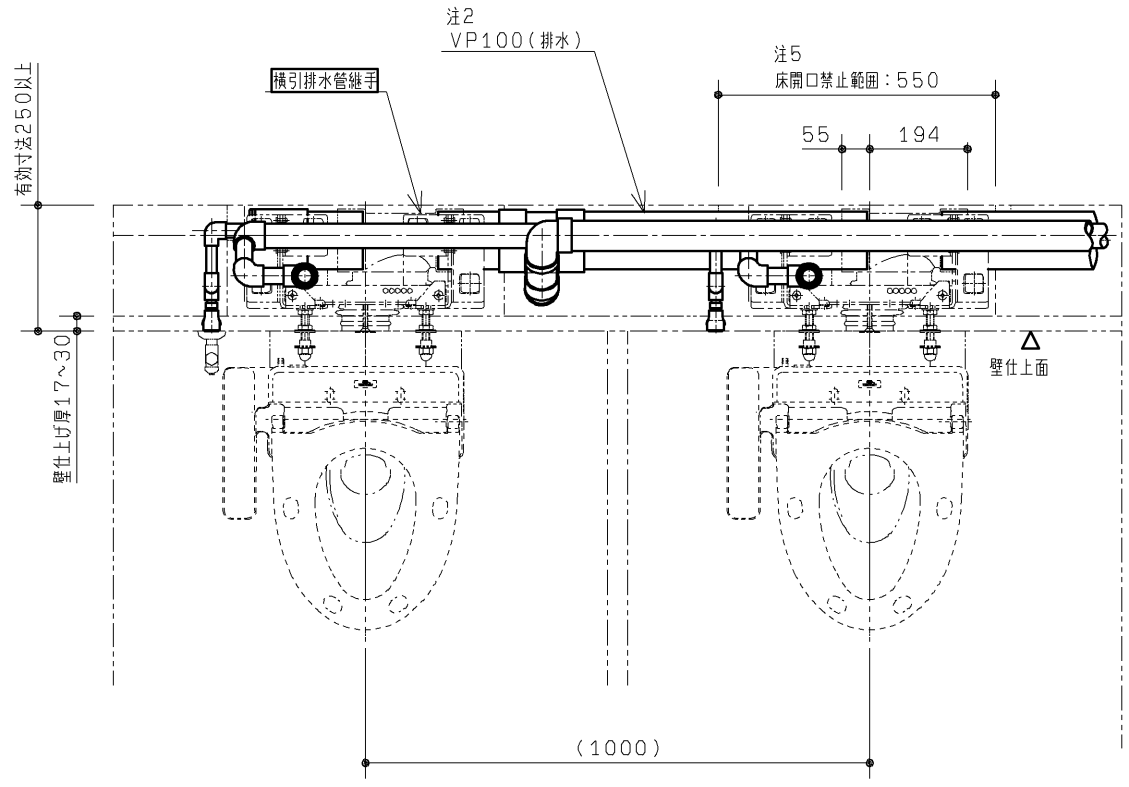
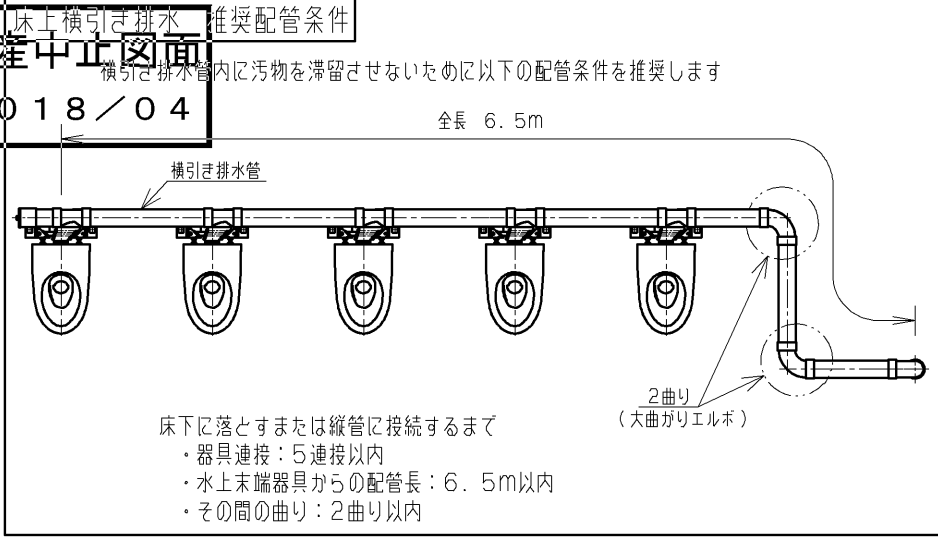
注：給水には最低必要水压（流動時）0.07MPaを確保してください。（最高水压（静止時）0.75MPa）

注：壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを選ぶ位置に配管を立ち上げてください。

注7


$$UAXC = 25$$

生産中止図面
2018/04



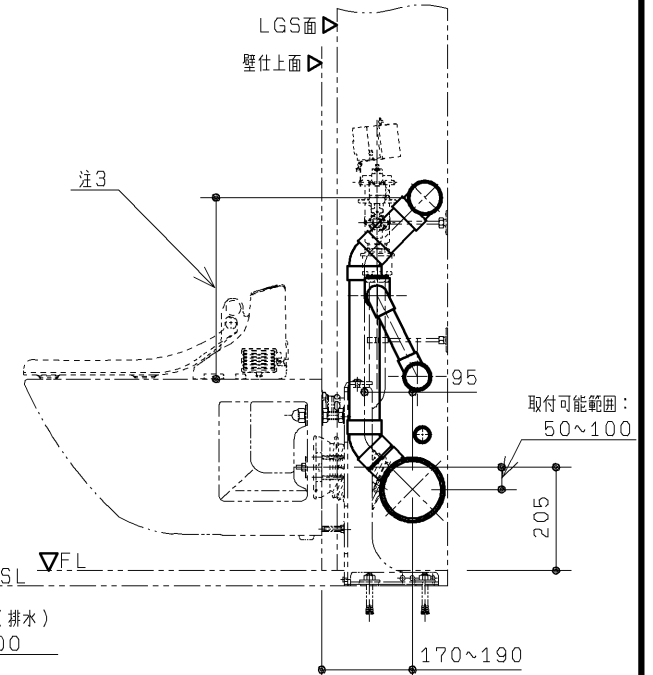
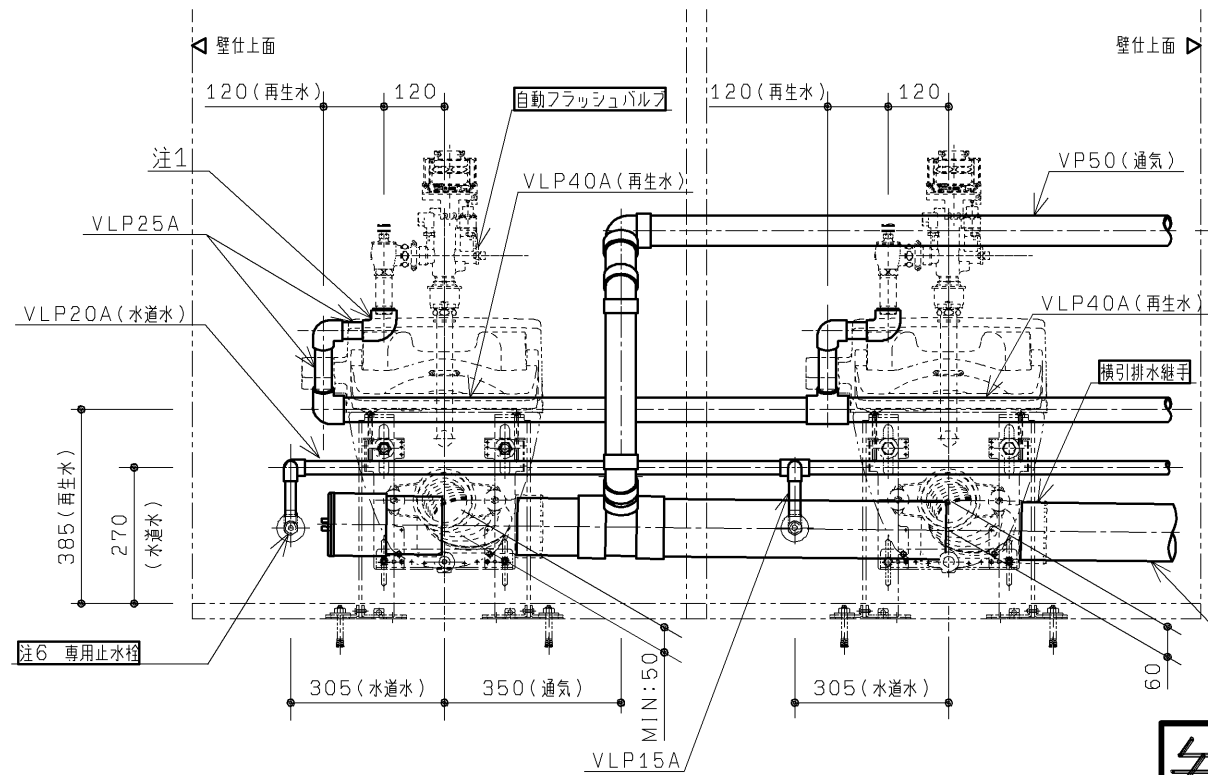
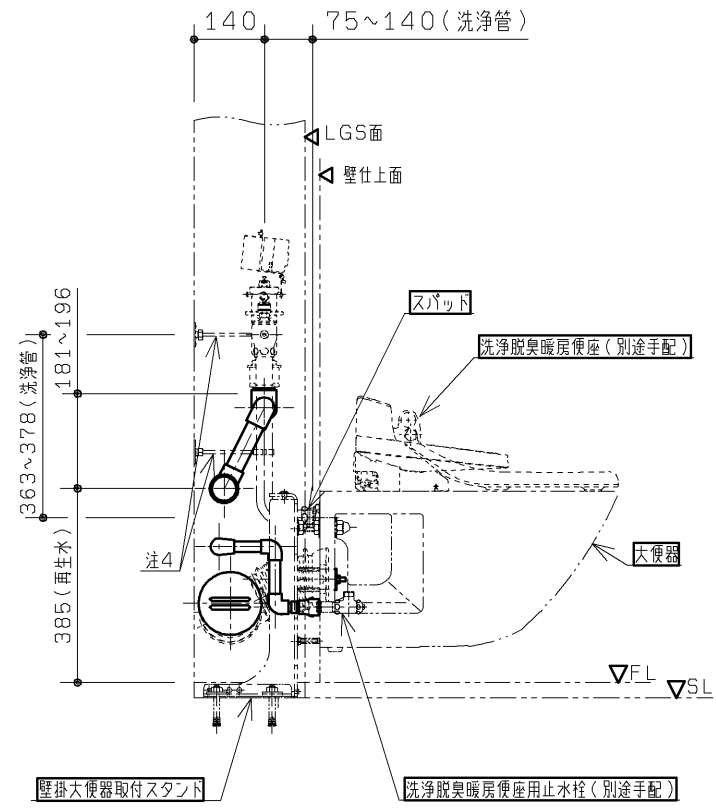
◆排水管を床上横引きする場合、器具は1系統5連接までとしてください。

◆配管は躯体又はLGSなどに固定してください。

※ 部に配管が位置しないようにしてください

◆壁掛大便器取付スタンド のベースプレート周囲40mmの範囲を避けた位置から配管を取り出してください。
この範囲内に床コンクリートの開口や欠損があるとアンカーボルトの必要強度が得られません。

- 注1：銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
- 注2：排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。
- 注3：通気管はあふれ縁から150mm以上上方で、通気立管と接続してください。
- 注4：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。
(品番：T56PH1)
- 注5：ライニング内から配管床抜きする場合は床開口禁止範囲 (スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲) を避けた位置から取り出してください。
- 注6：ねじサイズR1/2 (温水便座を使用する場合)
銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
- 注：給水には最低必要水圧0.07MPa (流動時) を確保してください。
(最高水圧0.75MPa)
- 注：必要に応じて防火区画貫通部処理を行ってください。



参考図

本図面は再生水仕様での事例になります。
水道水仕様の場合は、本図を参考に設計してください。
WL用の横引き配管は必要ありません。

※壁掛大便器専用ライニングに設置する場合はWL給水取り出し位置が異なりますので、壁掛大便器専用ライニング商品図を参照してください。

TOTO			第三角法	単位 mm	名称
製図	鈴木	検図	島坂	日付	壁掛6L大便器セット床上横引き配管例
			15. 09. 30	尺度	品番
				1:15	UAXC=26
備考					図番
設備工事 (横引き配管) (3/3)					UAXC=26